



学校通信

令和2年度 第11号
令和 2年 12月 25日
練馬区立開進第三小学校
校長 岡部 良美

「よいところ見つけ、子供たちが育てた大樹」

校長 岡部 良美

今年も、開三小の『よいところみつけ名人』キャンペーンが代表委員会の子供たちのすばらしいアイデアで計画され、すべての子供たちが自分事になって参加しました。11月29日の全校朝会で、代表委員会の子供たちが全校にキャンペーンについて知らせ、子供一人ひとりが取り組みました。12月7日の全校朝会では、代表委員会の子供がよいところ見つけをしている全校の子供たちの姿を伝え、讃えました。そのことで、さらに全校のキャンペーンへのモチベーションが高まり、一体感が高まりました。

11月30日に代表委員会の子供たちが描いた木は、葉も実も花も咲いていない苗木でした。みんなが『よいところみつけ名人』として取り組んでいることが苗木の成長の栄養となっていたと思います。12月12日にキャンペーンが終わり、14日の委員会活動で、代表委員会の子供たちが全校から集まった一人一枚のよいところの葉や実や花を昇降口前の苗木に貼りました。そして、開三小の見事な大樹に成長しました。

子供たちは大樹を毎日のように見えています。屋久島の縄文杉が、私たちに命の尊さや生命の連続性や神秘さなどを伝えるように、よいところみつけ名人キャンペーンで育てた大樹が、子供にとって一人ひとりの心や開三小全員の行動の拠り所となり、自信と共感をもって生活していく上での支えになっていくと思います。

2学期は運動発表会、音楽発表会をとおして、開三小の子供たちの誇りと自信をもって取り組む姿をご覧いただきました。また、生活科や総合的な学習の時間の中で、保護者の皆様に校外活動の引率や補助・記録にご協力いただきました。さらに、地域の皆様には、子供たちの町探検や地域調べ、働くこと体験などにおいて、子供一人ひとりが自分の思いや願い・課題をもって活動する学習にご協力をいただきました。子供たちが探求的に学ぶこと、1時間1時間・一つ一つの活動を文章に書いて振り返ることで自己の学びを自覚することにつながりました。子供たちが育てた大樹は、保護者や地域の皆様のご協力があったからこそと感謝いたします。



令和2年度 冬休みの生活について

冬休みは、今年一年を振り返ってみましょう。そして、新年を迎えたら、新しい目標を立てましょう。新型コロナウイルス感染が広がっています。自分ができることをしっかり行い、健康に十分に気を付けましょう。

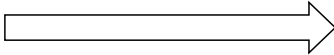
冬休みの目標

健康に十分に気を付けて、冬休みを過ごし、3学期に備えましょう。

健康

- (1) 新型コロナウイルスから身を守るため、3密を避けて過ごし、手洗い・咳エチケットをしっかりとしましょう。
- (2) 出かける時や室内で必要な時には、マスクを着用しましょう。
- (3) 室内ではこまめに空気を入れ替えましょう。
- (4) 毎朝の検温をし、健康観察表に記入をしましょう。
- (5) 今本当に出かけなければならないのかを考えましょう。(不要不急の外出自粛)

安全

- (1) 出かける時は、家の人に、だれと・どこへ・何をしに、何時ごろ帰るのか伝えましょう。
- (2) 知らない人についていきません。 
- (3) ゲームセンターやカラオケボックスに子供だけでいきません。
- (4) SNS家庭ルールを家の人と確認しましょう。

いか…いかない
の……のらない
お……おごえをだす
ず……すぐにげる
し……しらせる

不審者(あやしい人)、事故など 何かあったら110番

練馬警察署 電話番号 3994-0110